

羽ばたけ 大空へ

財団 月報

チャレンジカップ・ギマランイス大会 金メダル2つ獲得! 体操競技部 杉野正堯さん



9月19日〜22日までポルトガルのギマランイスで開催された「2019 FIG種目別チャレンジカップ・ギマランイス大会」において、鹿屋体育大学体操競技部の杉野正堯さん（スポーツ総合課程3年）がゆか、あん馬の2種目で金メダルを獲得しました。

ポルトガルでの国際大会を終えて、杉野さんは「ゆかとあん馬と鉄棒で優勝することを目標にポルトガルに乗り込んで、どんな体や心の状況の中でも必ず勝ち取るという経験ができました。プレッシャーを力に変え、自分の中で闘志を燃やして、力いっぱい演技することができました。この経験を生かし、東京オリンピックに向けて突っ走って行きたい」と思いま

2020年7月24日に開幕する東京オリンピックへの出場が期待される杉野さん。五輪切符獲得に向けて、今後の益々のご活躍を祈念いたします。

第74回国民体育大会 いきいき茨城ゆめ国体開催

9月28日〜10月8日まで第74回国民体育大会が、水戸のご老公やJリーグ鹿島アントラーズのホームタウンとしても知られる茨城県で開催されました（一部会期前実施競技もあり）。茨城での開催は、昭和49（1974）年以来45年ぶりでした。

競技名	種目	順位	氏名	学年	出場県				
陸上競技	成年女子・円盤投げ	5位	田川 浩子	修士1年	長崎県				
	成年女子・1500m	7位	日隈 彩美	4年	大分県				
	成年男子・800m	3位	高木 駿一	4年	長崎県				
バレーボール	成年女子	5位	濱田 幸二	監督	鹿児島県				
			白澤 明香里	4年					
			興梠 里欧	4年					
			田部 咲来	3年					
			金本 彩花	3年					
			有村 涼美	2年					
			吉田 萌子	2年					
			諸石 真衣	2年					
			東 美奈	2年					
			横山 真奈	1年					
			池松 未優	1年					
			大工園 彩夏	1年					
			サッカー	成年男子		3位	村川 大輔	博士2年	鹿児島県
							平田 皓太郎	4年	
綿引 康	4年								
奥田 雄大	4年								
仙波 柊人	4年								
田中 大和	4年								
西村 光明	4年								
濱口 功聖	3年								
藤本 一輝	3年								
安田 惟太郎	3年								
坂口 祥尉	2年								
根本 凌	2年								
小屋原 尚希	2年								
宮壽 海斗	1年								
久保 勇晴	1年								
山口 卓己	1年								
体操競技	団体成年	7位	西之原 佑奎	4年	鹿児島県				
			上田 直樹	3年					
			原口 幸大	3年					
			藤巻 竣平	2年					
			高岡 耕平	2年					
			堀内 柊澄	4年		岡山県			
			杉野 正堯	3年		福井県			

女子試合競技の選手として出場した春山りんかさん（武道課程2年）は見事優勝を果たしました。同大学の単独チームとして出場したサッカークラブは、優勝した茨城チームに敗れましたが3位入賞、鹿屋体育大学を主軸としたチームの成年女子で出場したバレーボール部はVリーグの選手らと相手に健闘し、5位入賞でした。

来年の国体はいよいよ鹿児島県の48年ぶりの開催となります。直前に開催される東京五輪・パリンピックの感動を受け継ぎ、同大学からも多くの選手が出場し、さらなる活躍を見せてくれることが期待されます。

競技名	種目	順位	氏名	学年	出場県
剣道	成年女子	ベスト8	村田 桃子	3年	鹿児島県
		2位	妹尾 舞香	1年	福岡県
自転車競技	男子チームスプリント	優勝	岸田 剛	3年	福井県
		2位	山根 慶太	2年	鳥取県
	4位	田仲 駿太	2年	大分県	
	成年男子ケイリン	3位	徳田 匠	4年	京都府
	成年男子スプリント	6位	真鍋 智寛	3年	愛媛県
	成年男子1kmタイムトライアル	7位	岸田 剛	3年	福井県
	女子スクラッチ	2位	橋本 優弥	4年	岐阜県
なぎなた	成年女子演技競技	3位	北 希織	4年	東京都
		4位	三浦 里帆	4年	愛知県
	成年女子試合競技	7位	田口 真耶	3年	鹿児島県
		優勝	春山 りんか	2年	熊本県
		6位	神山 愛姫	1年	愛媛県
		5位	渡邊 純菜	3年	山口県

起こされた。明るい。どうやら晴れている。長男の大きな声が起きぬけの耳に障る。一歳になった次男の湿った掌が顔をまさぐる。やめてくれ。せつかくの日曜の朝なんだから戦隊物のテレビでも見ていてくれ▼はっとも気づく。今日は長男の幼稚園の運動会。妻は四時半起きて弁当作り。私たちが夫婦にとって初めての「我が子の運動会」。朝食もそこそこに、子供たちの身支度を整えて家を出る。会場は近くの小学校のグラウンド。快晴だが少し肌寒く秋の訪れを感じさせる。風はほほ無。運動会日和であった▼運営、園児、保護者、それぞれが独特の緊張感で迎える開会式の後、午前競技。かけっこの着順や演技の出来はさておき長男は笑顔で終えた。昼休み。祖父母二組、従姉家族も弁当を囲んで賑やかに昼食。主役の長男はご満悦。午後の部。親子競技。パパ頑張った▼閉会式後、親族にお礼を言いつて帰宅。妻と子供を労いながら、とりあえず家族四人で川の字になった▼さて昨今は準備運営する学校と保護者の負担や、授業時間の確保等を考慮し、運動会を午前中までとしたり、無くしてしまう園・学校が増えているという。その趣旨は解らないでもないが、貴重な家族のハレのイベント、これはこれでいいかも。そんなことを思う私の側で子供たちが寝息をたてている。(H・Y)

わかくさ

スポーツを愛する すべての人とともに

ミズノスポーツ振興財団は、スポーツの振興・普及を目指し、スポーツを愛する人たちを応援しています。

公益財団法人 ミズノスポーツ振興財団

中華台北陸上競技代表チームが 鹿屋体育大学陸上競技部と合同練習

今年4月に鹿児島県大崎町に開所した「ジャパニアスリートトレーニングセンター」大隅を拠点に、9月2日から合宿を行っていた中華台北陸上競技代表チームの選手らが9月10日に鹿屋体育大学を訪れ、同大学陸上競技部と合同練習を行いました。

今回の来日は鹿児島県と大崎町が、今年6月に台湾陸上協会と東京2020オリンピック競技大会の事前合宿の協定を締結したことから実現、合同練習は近隣施設として多くのアスリートが活躍している同大学において、台湾陸上チームと大学陸上競技部双方の



松下雅雄学長(左)と
王台湾陸上協会秘書長



さらなる競技力とモチベーションの向上に繋がることが目的として行われました。

当日は時折大粒の雨が降るあいにくの天候でしたが、練習メニュー等を話し合いながら反復練習がなされ、全員が真剣に取り組み姿が見られました。

これを機に、同大学と台湾陸上協会の交流が今後さらに深まることを期待します。

健康づくり・介護予防講座 県民交流センターで3日間開催!

鹿屋体育大学とご協力する県民交流センターの連携講座として、10月11、18、25日の3日間、「健康づくり・介護予防講座」が、かごしま県民交流センターで開催されました。スクエアスペースとはスポーツ医学や健康体力学、加齢体力学を専門とする国立大学法人等の教員数名が協力して実践的研究の中から経験的に開発した科学的エビデンスに基づくエクササイズのこと。45歳から89歳まで定員30名の参加者は鹿屋体育大学の中垣内真樹教授の指導の下、介護予防の新しいエクササイズを楽しみました。

中垣内先生によればスクエアスペースを続ける体力の向上、転倒のリスクの低減、介護予防につながり、認知機能の若返りも期待できるそうです。鹿児島市西坂元から参加した井手敏子さんは「体を動かしながら脳も使うという貴重な体験をさせてもらいました。今後も定期的に開催してほしいです」と話しました。会場は終始和やかな雰囲気、いい汗をかきながら笑い声に包まれていました。



教室の様子

普通救命講習を開催

鹿屋体育大学では、9月24日に教職員を対象とした「普通救命講習」を開催しました。

この講習は、大隅肝属地区消防組合中央消防署から講師を招き、救命に必要な応急手当の方法について理解させることを目的として毎年実施しているもので、今年も22名の教職員が参加して行われました。

講習は普通救命講習3時間コースのカリキュラムで、応急手当の目的とその必要性についてDVD視聴を行った後、人形を用いた心肺蘇生法及びAED(自動体外式除細動器)の使用法について実習を中心に実施されました。初めはぎこちなかった参加者も、講師の丁寧な指導や緊迫した実際の様子等を聞きながら行うことにより、時間の経過とともに動作も上達しました。また講師への質問も積極的に行うなど、体育大学の教職員としての救命処置への関心の高さが伺えました。

参加者からは「人形を使用しての講師の実演があったので、より救命方法について理解できた」、「実技指導や質問に丁寧に対応され、いざという時は手助けをしたい」と等感想があり、たいへん有意義な講習となりました。



心肺蘇生法の実技

陸上世界選手権4x100m 銅メダリストの藤光選手が測定実施

オリンピックで、2017年世界選手権4x100mの銅メダリストの藤光謙司選手(ゼンリン)が鹿屋体育大学のスポーツパフォーマンス研究センター(以下SP研究センター)において動作分析測定を行いました。

藤光選手がSP研究センターで測定するのは2019年9月に続き2回目。同大学非常勤研究員である松尾彰文教授のサポートを得て、SP研究センターの50mのフォースプレートを活用した測定を行います。33歳という年齢を迎え「若い時からの変化に対応し、今自分ができることの最大限のパフォーマンス



測定後に陸上競技部の学生と一緒に
(中央:藤光選手)

課外活動団体紹介



女子バレーボール部

私たち女子バレーボール部は、濱田幸二先生、坂中美郷先生、伊集院俊博外部トレーナー、沼田薫樹戦術コーチ(D1)のご指導のもと日々練習に取り組んでいます。部員は4年生5人、3年生4人、2年生7人、1年生8人の総勢24名です。「日本一」を目標に、テーマとして「挑戦」を掲げています。「挑戦」には、何事にも立ち向かっていく姿勢を忘れず取り組むことで、技術面だけではなく人間力の向上にも努めるという意味が込められています。

主な試合は九州春秋リーグ、西日本IC、全日本ICそして、天皇・皇后杯全日本選手権、国体です。

活動としては、年間約10回小・中学生対象に公開講座やバレーボール教室を行い、地域との交流を深めたり、カナダのアルバータ大学と

はお互い大学を交代で訪れて、海外での生活を肌で感じ語学力を高め国際交流も深めています。

毎日の練習は、心技体をモットーに、まずウエイトトレーニングから行います。ボール練習を行う前にウエイトトレーニングを取り組むことで、怪我に負けない強い身体を目指します。その後にボールを使った技術練習として、基礎メニューやポジションごとの課題練習、そして、試合を想定したチーム練習などを行っています。

今年の10月に行われた茨城国体では5位という結果で終わりました。まだまだ自分達の課題があり、成長しなければなりません。11月末にある全日本インカレに向けて部員とスタッフが一致団結し、日々努力していきたいと思っております。応援よろしくお願いします。

企業説明会用ブース

Before
After

変わる! 魅せる!

ディスプレイで(差)がつく!!

★会社イメージの向上 ★スムーズな営業 ★統一感でさらなる魅力アップ

株式会社 新生社印刷

URL: <https://www.shinsei-p.co.jp> 鹿児島県鹿屋市礼元1-22-34
E-MAIL: kan@shinsei-p.co.jp TEL: 0994(43)2238(代)

「視覚」「触覚」が「記憶」に残る

SUGOHAKU KIRAMEKI

【厚紙デジタル加飾システム】

パッケージ・パンフレット・ポスター-etcに、ご活用いただけます。

印刷物へ 新たな付加価値を

視覚と触覚で感じる

TO OUR Welcom

厚紙デジタル加飾により磨き上がった高加工

厚紙クリアランスによるリアルなテクスチャ感

心にしみる...

小 鹿

鹿児島焼酎

小 鹿 酒 造 株 式 有 限 公 司

鹿児島県鹿屋市吾平町上名7312番地
TEL:0994-58-7171 FAX:0994-58-8363
<http://www.shochu-kojika.jp>

お酒は20歳を過ぎてから。

スポーツトレーニング教育研究センター 研究協力校等連絡会議を開催



会議の様子

9月24日、鹿屋体育大学では、令和元年度スポーツトレーニング教育研究センター研究協力校等連絡会議を開催しました。同センターは、鹿児島県教育委員会の推薦により委嘱された研究協力校と連携・協力し、発育発達段階に応じたトレーニングの調査研究を実施しています。本会議は、各協力校の校長や担当

者が一堂に会し、研究成果・活動報告や体育指導の現場で役立つ最新の知見についての情報共有を行うため、毎年開催されているものです。冒頭、松下雅雄学長の挨拶に引き続き、鹿児島県教育庁及び協力校等関係の出席者の挨拶の後、山本正嘉センター長の会議進行により、一般児童生徒の体力・運動能力向上プロジェクトの取り組みと、鹿屋市立花岡小学校、鹿屋市立吾平中学校、始良市立重富中学校から、アスリートドックプロジェクト(※)の取り組みとして、鹿児島県

立南大隅高等学校、鹿児島県立鹿屋島南高等学校からそれぞれ成果及び今年度の活動計画について報告が行われました。今年度は第9期研究協力校の初年度にあたり、今後の活動予定と各担当者との今後の連携に関する確認も含め、活発な意見交換が行われました。

※アスリートドックプロジェクト・同大学の学生を含む子供からシニア選手までの幅広い年代の多様な競技種目のアスリートを対象として、競技力向上のため体力・技術の評価とフィードバックを行うプロジェクト

第15回「鹿屋杯」全国高等学校選抜剣道錬成大会を開催

9月15日、鹿屋市串良平和アリーナにおいて鹿屋体育大学主催の第15回「鹿屋杯」全国高等学校選抜剣道錬成大会が開催されました。この大会は同大学創設の趣旨の一つである「武道の振興」を目的とした社会貢献事業として位置づけられており、大会運営全般を剣道部員(武道課程剣道専攻学生)が担い、部独自の高大連携及び広報事業として毎年開催されています。大会前日には参加者が大学武道館で大学生とともに稽古で汗を流し、交流を深めました。

試合は全国の高校から男子52チームの約490名、女子41チーム約300名が参加し、男子・女子の団体戦(5人



男子優勝 育英高等学校



女子優勝 三養基高等学校

制)が行われ、「礼」を重んじる剣道の精神を基に、選手たちの気迫溢れる試合が、予選リーグ及び決勝トーナメントともに繰り広げられました。

熱戦の結果、男子は育英高等学校、女子は昨年引き続き三養基高等学校がそれぞれ優勝し、「鹿屋杯」と「文部科学大臣賞」が授与されました。

男子
優勝 育英高等学校 (兵庫県)
準優勝 大濠高等学校 (福岡県)

女子
優勝 三養基高等学校 (佐賀県)
準優勝 筑紫台高等学校 (福岡県)

闘いの記録 9月

- 【陸上競技】
◆天皇賜盃第88回日本学生陸上競技対校選手権大会 (9/12~15 岐阜/岐阜メモリアルセンター長良川競技場)
▽男子
800m 5位 高木 駿一
1500m 2位 小林 青
砲丸投 4位 金城 海斗
▽女子
1500m 5位 日隈 彩美
走幅跳 7位 山本 渚
◆第47回九州学生陸上競技選手権大会 (9/20~22 福岡/北九州市立本城陸上競技場)
▽男子
走幅跳 3位 小島 康成
やり投 1位 谷口 健太
十種競技 3位 倉見 滉
▽女子
棒高跳 1位 太田 萌々華
【テニス】
◆令和元年度全日本大学対抗テニス王座決定試合 九州地区予選 (9/9~12 福岡/グローバルアリーナ)
▽男子
団体 1位 鹿屋体育大学
▽女子
団体 1位 鹿屋体育大学
【サッカー】
◆アジア大学サッカートーナメント (9/18~26 台湾/台南市)
▽男子
U-19全日本大学選抜 1位 宮寄、山口※
【体操競技】
◆2019FIG種目別チャレンジカップ・ギマランイス大会 (9/19~22 ポルトガル/ギマランイス)
▽男子
ゆか 1位 杉野 正亮
あん馬 1位 杉野 正亮
鉄棒 8位 杉野 正亮
【水泳】
◆第95回日本学生選手権水泳競技大会 (9/6~8 東京/東京辰巳国際水泳場)
▽女子
200m 背泳ぎ 6位 山口 藍李
【柔道】
◆第63回九州学生柔道体重別選手権大会 (8/31~9/1 福岡/福岡武道館)
▽男子
60kg級 1位 森田 将矢
2位 福田 大悟
66kg級 1位 清家 裕馬

- 2位 鎌田 樹
1位 星田 和希
1位 小林 礼弥
3位 竹下 将樹
1位 山口 良太
1位 吉野 弘人
1位 吉野 敦哉
2位 境 辰五郎
3位 萩原 麻陽
1位 永田 賢斗
2位 黒河内 健介
3位 工藤 祐輝
◆第33回九州学生女子柔道体重別選手権大会 (8/31~9/1 福岡/福岡武道館)
▽女子
48kg級 1位 松西 夢紀
2位 小泉 涼花
52kg級 1位 阪部 リリ子
2位 小川 真未来
3位 濱野 未来
57kg級 1位 濱野 未来
2位 盛 安寿紗
3位 吉野 彩佳
1位 塔本 葉美
2位 伊藤 友希
63kg級 2位 伊藤 友希
70kg級 3位 伊藤 友希
◆JOCジュニアオリンピックカップ 2019年度全日本ジュニア柔道体重別選手権大会 (9/14~15 埼玉/埼玉県立武道館)
▽男子
60kg級 3位 福田 大悟
90kg級 3位 吉野 弘人
◆2019年度全日本学生柔道体重別選手権大会 (9/28~29 秋田/秋田県立武道館)
▽男子
60kg級 5位 福田 大悟
▽女子
70kg級 3位 伊藤 友希
【剣道】
◆第66回全九州学生剣道大会 (9/7 福岡/粕屋町総合体育館)
▽男子
団体 1位 鹿屋体育大学
◆第42回全九州女子学生剣道大会 (9/7 福岡/粕屋町総合体育館)
▽女子
団体 1位 鹿屋体育大学
【ヨット】
◆2019年度全日本学生シングルハンドレガッタ (9/6~8 愛知/豊田自動織機海陽ヨットハーバー沖)
▽混合
レーザージャル級 2位 石原 大地
【漕艇】
◆第46回全日本大学選手権大会 (9/5~8 東京/戸田ボートコース)

- ▽女子
シングルスカル 8位 四方 美咲
ダブルスカル 7位 谷口、西山
◆自転車競技
◆文部科学大臣杯第75回全日本大学対抗選手権自転車競技大会(ロード) (9/1 長野/大町市美麻地区公道周回コース)
▽男子
ロード総合 5位 鹿屋体育大学
個人ロードレース 8位 重満 丈
▽女子
ロード総合 5位 鹿屋体育大学
個人ロードレース 5位 橋本 優弥
◆第54回全国都道府県対抗自転車競技大会【トラック競技】
鹿児島/鹿児島県根占自転車競技場(ロード競技)
鹿児島/大隅広域特設ロード・レース・コース(9/6~8 鹿屋市・肝付町・錦江町・南大隅町)
▽男子
成年 ケイリン 1位 徳田 匠(京都)
2位 山根 慶太(鳥取)
8位 長松 空吾(大分)
4kmチーム・パシュート 2位 岸田、竹澤※(福井)
4位 徳田※(京都)
7位 西原※(奈良)
成年 1kmタイム 4位 岸田 剛(福井)
7位 田仲 駿太(大分)
チーム・スプリント 1位 山根※(鳥取)
7位 真鍋※(愛媛)
3位 真鍋 智寛(愛媛)
8位 長松 大祐(大分)
スプリント
▽女子
チーム・スプリント 2位 橋本※(岐阜)
ポイントレース 3位 橋本 優弥(岐阜)
4位 成海 綾香(鹿児島)
個人ロード・レース 3位 橋本 優弥(岐阜)
7位 成海 綾香(鹿児島)
◆第88回全日本自転車競技選手権大会トラック・レース (9/14~16 静岡/JKA250)
▽男子
エリート1kmタイムトライアル 6位 岸田 剛
8位 山根 慶太
エリートチームスプリント 3位 岸田、真鍋、黒瀬、山根
エリートチームパシュート 4位 河藤、長松(空)、古谷田、高良
【カヌー】
◆2019年度SUBARU日本カヌースプリント選手権大会 (9/2~6 東京/海の森水上競技場)

- ▽男子
C-1 200m 8位 下屋敷 泰成
C-1 500m 6位 下屋敷 泰成
C-2 200m 2位 佐藤 ※
3位 袖野 ※
4位 高比良、田中
6位 横山、岡村
2位 下屋敷、袖野
3位 岩男、吉田
6位 石川、岡村
1位 佐藤、袖野
4位 橋本 ※
6位 橋本、新沼
1位 田原、安藤
2位 田原、下川
6位 田原、森黒、安藤、下川
1位
▽女子
WK-1 200m 5位 森 愛奈
WK-2 200m 1位 森 ※
5位 林田、溝口
1位 森、林田
※は他団体選手との出場を示す

学内行事 (令和元年 12月)

- 26日・冬期休業期間(～1月7日)
- 闘いのスケジュール 12月
- 1日・第69回九州地区大学体育大会(剣道) (福岡/粕屋町総合体育館)
- 9日・第71回全日本大学バスケットボール選手権大会 (～15 東京/駒沢オリンピック公園総合運動場体育館)
- 11日・2019年度第68回全日本大学サッカー選手権大会 (～22 未定)
- 14日・第14回全日本学生剣道オープン大会 (～15 宮城/カメイアリーナ)
- 15日・第25回冬季短水路公認記録会 (福岡/福岡市立総合西市民プール)

公式HP、Twitter、Facebookで情報発信しています！



公式HP



Twitter



Facebook

ありがとうございます

賛助会費は、奨学金、国際交流、学内研修等に利用させていただきます。心から感謝申し上げます。

《一般》
カイコー(株)様(三万円)

本財団の賛助会員制度は、平成元年四月に発足しました。年会費(寄付金)は一口企業三万円、個人一万円からです。本財団は、公益財団法人として認定されています。本財団に対する年会費(寄付金)につきましては税法上の優遇措置があり、二千元を超えるご寄付につきましては、その超える額について所得税の寄付金控除の対象となります。※年会費は、振り込みもしくは現金で受け付けております。

振り込みの場合は、次の金融機関へお願いいたします。

・鹿児島銀行 鹿屋支店
(普) 九三二〇六七
(普) 鹿児島興業信用組合 西原支店
(普) 三五八二一一
(普) 鹿児島相互信用金庫 西原支店
(普) 〇四三三八〇

△口座名義
公益財団法人 鹿屋体育大学体育・スポーツ振興教育財団
理事長 風呂井敬

本財団の活動の趣旨をご理解いただき、関係各位の格別なる御高配をお願い申し上げます。

事務局から